総務厚生常任委員会

委員長
長島正一

一般会計補正予算

予算規模の縮減が予想され、次年度に向け慎重な予算編成が望まれる。

自治集会所建設費補助金　27万円（自治振興費）

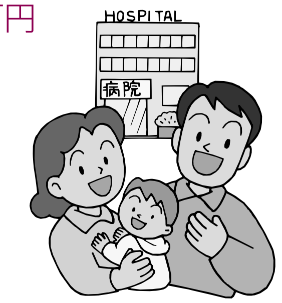
三日市集会所の増築要望に対して事業費の20%を補助するものだが、この施設は指定管理者制度に基づいており発言が相次いだため、予算特別委員会に審査意見を付した。

医療従事者確保対策事業　100万円（保健衛生総務費）

医療従事者確保対策事業の確定により210万円の不要額が出た。このうち100万円は就業支度金として、看護師不足の緊急対策に充てる。

三日市集会所

飯南町病院事業会計補正予算（第3号）3,235万円



主な収入は、入院・外来患者増による増額補正で、材料費・経費・研究研修費の増加に対応する。経営の改善傾向は顕著であり、病院スタッフ一丸となった努力がみられる。一方、就労環境は厳しさを増しており、早急な対策が望まれる。

飯南病院

審査意見（案）

次の2件に付、意見書を予算特別委員会に付した。

自治集会所建設費補助金　27万円

経常管理費を行政負担している自治集会所と、負担していない自治集会所があり、不公平感を住民が抱いている。公平性が担保できる指定管理者制度にするよう検討すべきである。

高齢者世帯等住宅緊急除雪費　300万円

総合的雪対策としての補助制度の創設は評価できるが、運用面で不都合を生じることが懸念される。個々の置かれている状況が多様化している中、一律の基準が新たな住民間の不公平感を生む可能性もあるので、自治区・自治会等と充分な連携を図り、実施する必要がある。

常任委員会報告

教育経済常任委員会

委員長
門　眞一郎

飯南町公共下水道、八神農業集落排水処理施設、合併処理浄化槽の設置及び管理に関する条例の改正

現在公共下水道、八神農業集落排水施設、合併処理浄化槽の料金の徴収は水道料金の徴収月と同じ偶数月に行っているが、利用者の負担を平準化する目的で奇数月に変更する提案がされた。

利用者の負担を軽減する提案であるが、年金の支給月は偶数月と成っており、希望者には従来通りの支払方法を選択できるよう検討を促した。

一般会計補正予算

地域交流促進事業　576万円（観光費）

道の駅赤来高原を改修するもので、全額借入金で行われる。

本町には多くの観光施設があり、そのすべてが指定管理によって運営されている。

指定管理料は年々減少していくよう営業努力されることが求められる。また、これらの施設の修繕費が増加傾向にあるが、本来は営業利益で行うべきものだ。

類似施設すべての営業を継続すべきか考える時期が来ている。修繕費は基金の利用なども考慮し、中長期的視野に立ち、計画的に進めるべきだ。

頓原小学校等の雪下ろし予算　100万円
（教育委員会：事務局臨時管理費）

本来なら町有財産臨時管理費として考えるべきである。

頓原小学校

杉戸浄水場

飯南町簡易水道事業特別会計補正予算、飯南町下水道事業特別会計補正予算

上下水道は施設修理、ポンプ等の更新費用の増加が予測されている。需要、修繕、管理などの計画をきちんと立て、これに見合う料金の設定を行う必要が考えられる。

水道の新設負担金は10万円になっている。今後、上水道の本管からかなり距離のある場所へ家屋の新築などが想定されるが、一定の規律は必要であり、検討を要する。

道の駅あかぎ高原

その他

畜産振興

本町の飼養頭数減少により、単独ブランドの維持が困難とし、雲南農振協の一員として奥出雲和牛ブランドで販売しているのが現状だ。

本町として、繁殖牛300頭規模が維持できればブランド化は可能と言われている。あくまで単独ブランドにこだわり、300頭規模を確保するため、飼養者の人件費を町が負担するくらいの意気込みをもって振興策に取組むべきだ。

【参考】子牛出荷頭数：21年度／270頭・22年度／223頭・23年度／200頭（現時点の予測）